

市政を問う

一般質問

※問の下の氏名は
発言議員名です

明るい未来に向かって

まちづくり

総合振興計画の 事業選択を明確に

問 堀口 総合振興計画に、

ふじみ野市の目指す方向をわかりやすく示すべき。自立を目指す中で、国の補助を当てにしながら「あれもこれも」という行政運営は許されない。将来に責任の持てる、そのため「あれかこれ」という事業選択を明確に。

答 今後、前期基本計画、三カ年実施計画の中で行なうべき施策を明確にしていきます。目指すのは市民の和と協力をつくり上げていくことです。

東京海上グラウンドの 開発計画は

問 前原 東京海上日動火

災グラウンドのフェンス沿いの樹木の復元と、今後の開発

についての市の考え方は。

答 フェンス沿いには植林します。開発計画に対しては、良好な都市環境維持を指導します。

上福岡駅東西口に エレベーター設置を

問 鈴木 来年度設置予定

のエレベーターについて、東武鉄道との協議はどのように進んでいるか。

答 平成二十二年までのバリアフリー化に向け、東口の設置については明らかにされていますが、西口については実施する場合、全額市の負担となります。

ふじみ野駅東口エレ ベーターは二十年から

問 足立 要望が強かった

ふじみ野駅東口にもエレベ

ターが設置される。今後のスケジュールはどうなっているか。
答 二月までに工事を行ない、その後、平成二十年度内には稼働予定です。

乱開発防止に上福岡 地域でも高さ制限を

問 山口 乱開発防止のため

に、市の開発要綱で除外している高さ制限（一五メートル）を、上福岡地域にも適用すべき。

答 マンション建設計画が数件あり、憂慮する状況にあります。開発は周辺地域の影響等考慮して計画するように指導していますが、大井地域の高さ制限を上福岡地域に導入する方向で検討しています。

危機管理「日本」の 体制づくりを

問 田村 過去の教訓を生

かし、危機管理は「日本」の体制をつくるべきではないか。
答 危機管理基本マニュアルの策定・危機意識の向上・訓

練と、さまざまな危機に対処します。

問 職員はその道のプロとは限らない。アクティブシニアの方々に専門性を発揮してもらい、さらなる民間チェックを導入すべき。

答 民間の活力を導入することで、第三者的な立場からのチェック機能を構築する予定です。

危機管理マニュアルに ついては

問 高畑 危機管理マニ

ュアルが策定されたが、市が直接の主催でないイベントの対応は。また、事業が複数の課

に及ぶ場合の個別マニュアルの作成は。

答 市主催事業に限らず、市にかかわるイベントについて担当課が個別マニュアルを作成する予定です。また、担当課が複数に及ぶ場合は、各課が連携のもと作成します。

財政の健全化を

問 高畑 厳しい財政状況

の中で、硬直化した財政構造の改善に向けた市の方策は。

答 職員の定員適正化計画を定め、人件費の削減に努めるとともに、創意工夫や発想の転換による経費の節減に努めてまいります。

安心して歩けるまちを

安全

踏切内歩道の拡幅を

問 小峰 踏切内での道路

幅が狭く、歩行者にとって危険だ。早期の解決を。

答 踏切に歩道を設置する場合、東武鉄道の方針は「接続する市道部分の拡幅が必要」としています。今後、都市計画マスタープランにおいて、

